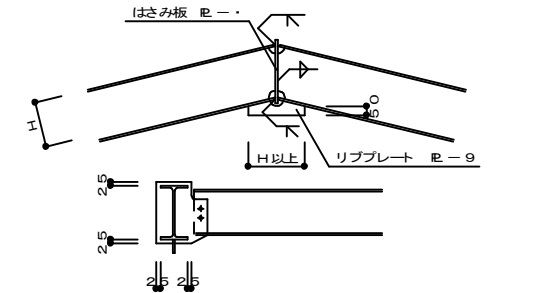
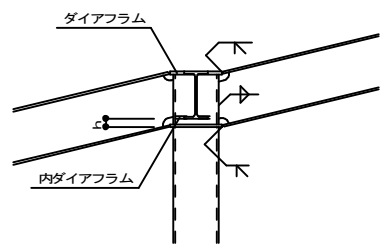
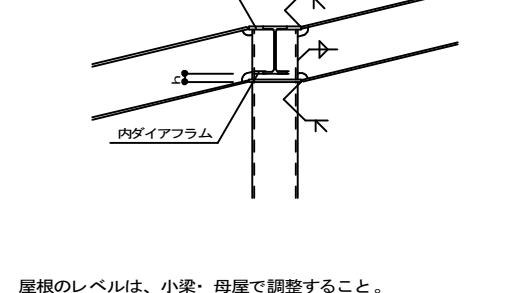
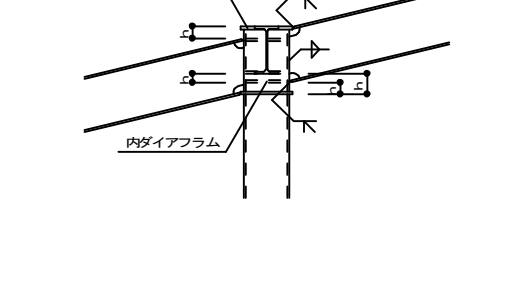
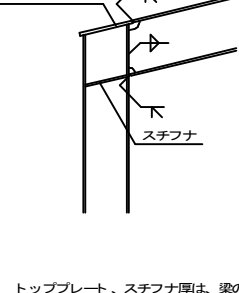
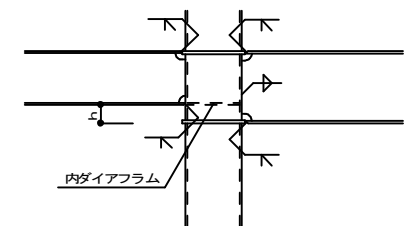
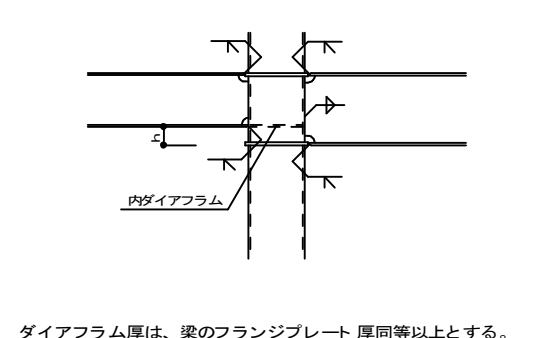
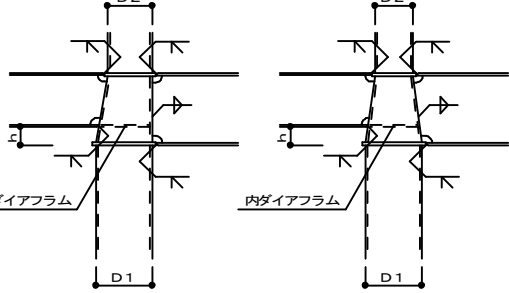
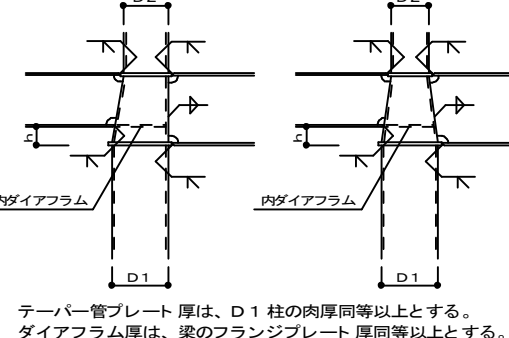
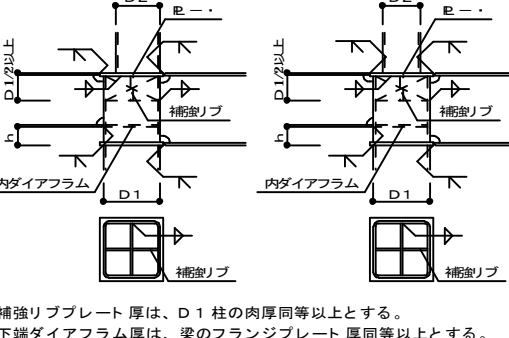
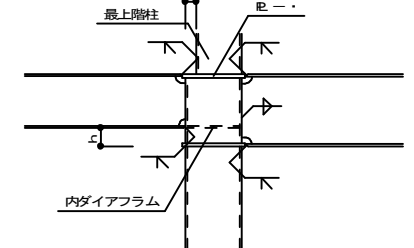
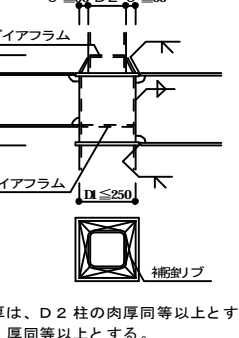

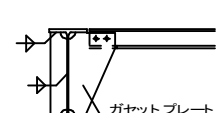
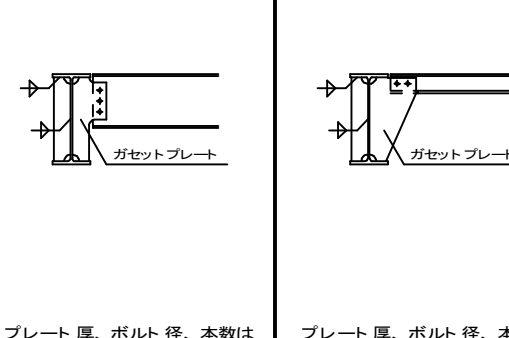
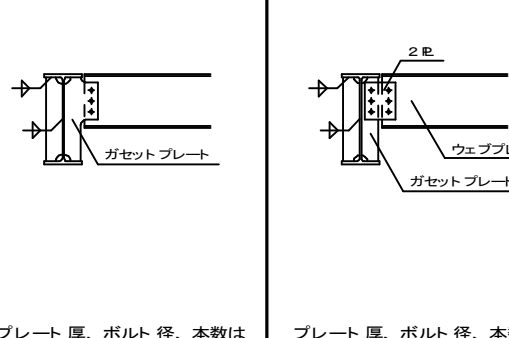
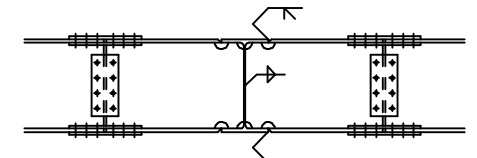
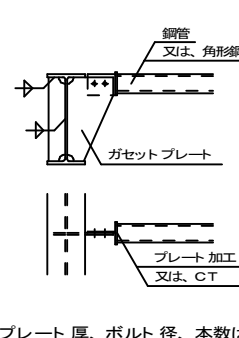
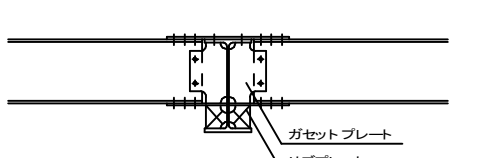
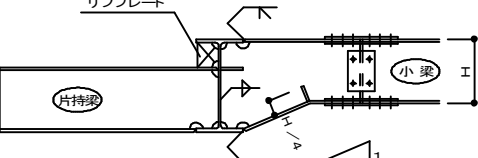
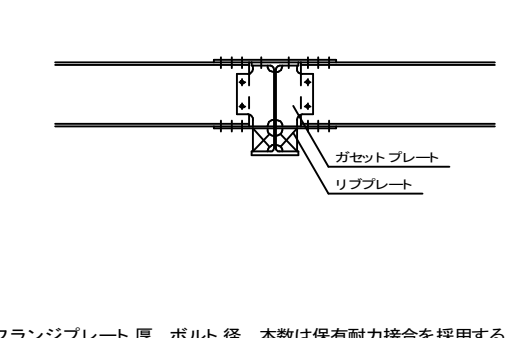


鉄骨部分詳細図

●採用は☑印を記入

| | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------|--|-------------|---|----------------|---|----------------|--|---------------|--|-------|
| A-1 | 山形ラーメン棟部継手(リブプレート付) | ● B-1 | 山形ラーメン柱頭部仕口 | B-2 | 山形ラーメン柱頭部仕口 | B-3 | 山形ラーメン柱頭部仕口 | B-4 | H鋼仕口部 | B-5 | H鋼仕口部 |
| A-2 | 山形ラーメン棟部継手(リブプレート無) |  <p>h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p> | |  <p>屋根のレベルは、小梁・母屋で調整すること。 h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p> | |  <p>h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p> | |  <p>トッププレート、スチフナーは、梁のフランジプレート厚同等以上とする。</p> | |  <p>スチフナー厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。</p> | |
| C-1 | 柱・梁 仕口部 | C-2 | 柱・梁 仕口部 | C-3 | 異径管継手部(テーパ管形式) | C-4 | 異径管継手部(補強リブ形式) | C-5 | 異径管継手部(はかま形式) | | |
|  <p>ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p> | |  <p>補強リブ厚は、梁のフランジ厚同等以上とする。 ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。</p> | |  <p>テーパ管プレート厚は、D1 柱の肉厚同等以上とする。 ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p> | |  <p>補強リブプレート厚は、D1 柱の肉厚同等以上とする。 下端ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p> | |  <p>補強リブプレート・D2 内ダイアフラム厚は、D2 柱の肉厚同等以上とする。 ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p> | | | |
| C-6 | 異径管継手部(折版屋根等の軽微な場合) | C-7 | 異径管継手部 | D-1 | ● D-2 | D-3 | D-4 | D-5 | D-6 | | |
|  <p>下端ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p> | |  <p>ダイアフラム厚(t)は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。</p> | |  <p>プレート厚、ボルト径、本数は特記による。</p> | |  <p>プレート厚、ボルト径、本数は特記による。</p> | |  <p>プレート厚、ボルト径、本数は特記による。</p> | |  <p>プレート厚、ボルト径、本数は特記による。</p> | |
| E-1 | 小梁剛接合 | E-2 | 小梁剛接合 | E-3 | E-4 | E-5 | E-6 | E-7 | E-8 | | |
|  <p>現場接合部は特記無きかぎり保有耐力接合を採用する。</p> | |  <p>現場接合部は特記無きかぎり保有耐力接合を採用する。 リブプレート厚さは、梁のウェブプレート厚同等以上とする。</p> | |  <p>フランジプレート厚、ボルト径、本数は保有耐力接合を採用する。 ガセット・リブプレート厚は、梁のウェブプレート厚同等以上とする。</p> | |  <p>現場接合部は特記無きかぎり保有耐力接合を採用する。 リブプレート厚は、梁のウェブプレート厚同等以上とする。</p> | |  <p>現場接合部は特記無きかぎり保有耐力接合を採用する。 リブプレート厚は、梁のウェブプレート厚同等以上とする。</p> | | | |

| | | | | |
|------|------|---|--|---|
| 変更事項 | MEMO | <p>株式会社 西野設計</p> <p>鹿児島県出水市大野原町272番地 TEL0996-63-3016</p> <p>知事登録第1-20-120号 一級建築士大臣登録 第189570号</p> <p>西野正憲</p> | <p>工事名 矢岳第2 牧場肥育舎新築工事</p> <p>図名 鉄骨工事標準図 その4 (堆肥舎 A棟)</p> <p>縮尺</p> | <p>図面番号 B-33</p> <p>製図 西野 検印</p> <p>平成30年 7月 8日</p> |
| | | | | |
| | | | | |